

## 信州上田の松茸賞味と錦秋の軽井沢散策

企画委員会

秋の味覚を目いっぱい賞味する錦秋のグルメ、松茸賞味の企画でした。信州上田では、季節が到来すると松茸小屋がいくつも出現します。今回はその一つの松茸小屋に、グルメの旅をしました。

北陸新幹線が信州上田に通じていますので、楽々と日帰りできました。その肝心の松茸料理はコースになっていて、土瓶蒸から松茸ご飯まで揃い、足を伸ばして賞味するに十分に値いし大満足でした。

オプションは中軽井沢1泊です。信州に行くなら、ゆっくりしたい、軽井沢近辺を散策して楽しみたいという希望を叶えてくれました。軽井沢の宿泊は千代田区の施設メレーズ軽井沢です。ここはN会員からのご便宜で実現したもので、コスパ抜群で錦秋の軽井沢散策ができました。今回の信州は、ということで重ね重ねの満足ツアーでした。

【日帰りコース】復路軽井沢駅まで全員一緒  
信州上田駅改札に集合 当日信州上田駅改札解散  
日 時：2023年10月12日(木) 日帰り  
集 合：12時00分 JR北陸新幹線上田駅改札  
参加費：¥10,000円(松茸コース料理) 事前払い込み  
交通費：各自手配の往復交通費(概算¥14,000円)  
往 路：北陸新幹線 東京駅10:32発 ⇒  
上田駅11:51着 はくたか557号 ⇒  
乗換上田電鉄上田駅12:03発⇒下之郷駅12:18着  
⇒ 徒歩 ⇒ 生島足島神社参拝 ⇒ 送迎バス  
⇒「松茸小屋二幸園」着  
復 路：送迎バス「松茸小屋二幸園」15:10発 ⇒  
下之郷駅着 上田電鉄下之郷駅15:54発 ⇒  
上田駅16:12着 北陸新幹線上田駅16:32発 ⇒  
東京駅17:52着 はくたか568号  
歩 数：1万7千歩

参加者20名

松茸小屋二幸園の松茸料理のメニュー：  
先付3品(松茸煮浸し、筍土佐煮、露胡麻味噌仕立)、  
松茸土瓶蒸し、松茸茶碗蒸し、松茸鍋(松茸、鳥、ネギ、白菜、キノコ、季節の野菜)、松茸天ぷら5種、  
松茸ごはん、松茸味噌汁、香の物(信州野沢菜)、  
デザート(シャインマスカットゼリー)

【一泊コース】松茸参加の内15名が軽井沢1泊  
上田駅で日帰り組とお別れ

復路；上田⇒軽井沢下車 ⇒タクシー移動 ⇒  
メレーズ軽井沢 ⇒ 夕食 ⇒ 宿泊⇒ 翌朝解散  
メレーズ軽井沢⇒帰途(各自散策など自由行動)

### ■生島足島(イシマルシマ)神社 記念写真

松茸小屋二幸園の最寄り駅は、上田電鉄別所線のほぼ中間にある下之郷(しものごう)です。駅前に降り立つと、そこが生島足島神社の参道でした。まずは、これからの松茸料理に期待に胸を膨らませて、腹を空かせての参拝です。鳥居の下全員揃いです。



この神社の境内はひろく、中にあるのが出雲式の神池だそうです。水面の鏡が趣を添えています。



### ■松茸料理二幸園の入口

送迎バスを降り少々階段を上ると、やけに立派な看板がありました。

松茸料理の写真でその数々をします。松茸の風合いと香りをお届けできれば、幸いです。



## ■松茸料理

お品書き 恭しく拝見松茸の字が躍る



先付 左に松茸煮浸し期待にワクワク



松茸鍋 ドーン！と食べ応え充分



茶碗蒸しと天ぷら 自己主張しっかり



土瓶蒸し 鱧入りの本格派で香り高い



旨い締めは定番 松茸飯と松茸味噌汁



## ■松本上田電鉄別所線

2両連結のワンマンで、鉄道の継ぎ目を拾うとカタンコトンとのどかな音を響かせて田園地帯を大きなカーブを描いて走っていました。

上田駅を西に向かって出発するとすぐに千曲川を渡り、最初の駅の名が「城下」。上田城の地元そのものです。下之郷駅の一つ手前の駅の名は「大学前」で、上田女子短大と長野大学の学生が乗降していました。

下車したのは下之郷駅です。この駅までの途中駅では先頭車両しか乗降ドアが開きません。この下之郷駅でやっと2両全部のドアが開きました。その下之郷駅の看板は派手なものでした。



## ■メレーズ軽井沢 15名が1泊でお世話になりました

コテージスタイルでしたので、今回のように5～6名での宿泊は楽しいものでした。お料理は心のこもったもので、品数も多く満足度が高く、瓶ビールが1本400円はうれしいものでした。食事の後は、広いロビーでくつろぎました。

今年は秋の訪れが遅く、紅葉には今一步でした。メレーズ軽井沢のコテージ周りも緑が残っていました。



## ■軽井沢観光の定番 雲場池

錦秋を求めて1泊組の有志が訪ねました。が、やはり紅葉には今一步でした。とはいえ、青空に映える逆さ絵の風景は、一見の価値ありでした。



## ■猛暑でしたが松茸がありました 老舗の強み

並み外れた猛暑の連続で、世間では松茸は生えないとのもっぱらの報道でした。ですから、松茸料理の顔を見るまでヤキモキでした。料理の席には、ゾロリと松茸があり、さすが老舗の強みとホットしました。それにしても、心騒ぐ松茸への心配でした。

## 松茸の旅 参加しました

### (東京都千代田区)

松茸を賞味する会～から翌朝までずっとお世話になりお疲れになった事と存じます、有難うございました！お疲れ様でした。

### (東京都調布市)

写真をありがとうございました。一万円松茸を賞味した証拠写真になります。

我々9名はハルニレテラスを散歩した後イタリアンレストランでランチ、バスで軽井沢駅へ。15時の新幹線に乗り、一同無事帰路につきました。天気に恵まれた旅でした。ご手配ありがとうございました。

### (静岡県静岡市)

#### 松茸賞味と軽井沢

数日前の作家の新井素子さんの新聞の随想に目が留まった。題して「秋はどこへいった」。観測史上記録的酷暑に見舞われた今年の夏。そして待ち遠しかった秋の到来。

その味覚の王様と言えば松茸だろう。昔から憧れて一度は産地上田地方で味わってみたかった。今年は斯様な天候の関係で不作ともいわれた。が、土瓶蒸しや鍋料理に舌鼓を打つことができ、企画に感謝している。

松茸賞味後、宿泊組はメレーズ軽井沢にお世話になり、久しぶりの現地での歓談に花が咲いた。軽井沢と秋の味覚の王者松茸料理とを共に存分に楽しむ、プチ贅沢な旅行でした。

### (東京都杉並区)

天候に恵まれ 勿論松茸も美味しかったですね。2日間お世話になりました。ありがとうございました。